



**歯科医療の現場としては、新型コロナウイルス対策を
しっかり立て、実行していくことが今一番の課題です。**

ウイルスは、ウイルスを持っている人と接触するか、その人の飛ばしたツバなどの飛沫を吸い込むことで感染します。そして、目や鼻の粘膜にくっついて体の中に入り、鼻や舌やのど、そして肺に住みついて仲間を増やし、病気を引き起こします。報道されているように味や匂いがしなくなったり、呼吸困難になるのはそのためです。

そこで、飛沫感染予防ですが、**現在ほぼ全ての患者さんと医療スタッフはマスクをしていますので、空気中にツバなどの飛沫を飛ばす、そしてそれを吸い込むことは、ほぼ防げていると思います。**
目の防御はメガネやゴーグルを付けます。



室内の換気もエアーバキュームなどで定期的に行なっています。また、汚れた手で口や目に触れないように手洗いはまめに行うことにしています。

次に、接触感染予防ですが、**診療室に入る前に専用薬剤で手洗い、うがいをしていただき、同時に検温して発熱の有無を確かめています。**
また密接を避けるために予約をゆったりめにしています。

